

三遠南信地域の祭り街道による連携

1. 事業コンセプト

「ひと」・「もの」・「情報」の往来活性化

- 「ひと」が動けば、「もの」と「情報」が動く
- 「もの」が動けば、「ひと」と「情報」が動く
- 「情報」が動けば、「ひと」と「もの」が動く

2. ハイウェイ(東名・新東名・三遠南信道)と バイウェイ(国道151号、152号、 362号)の連携・活用



三遠南信自動車道の整備効果促進

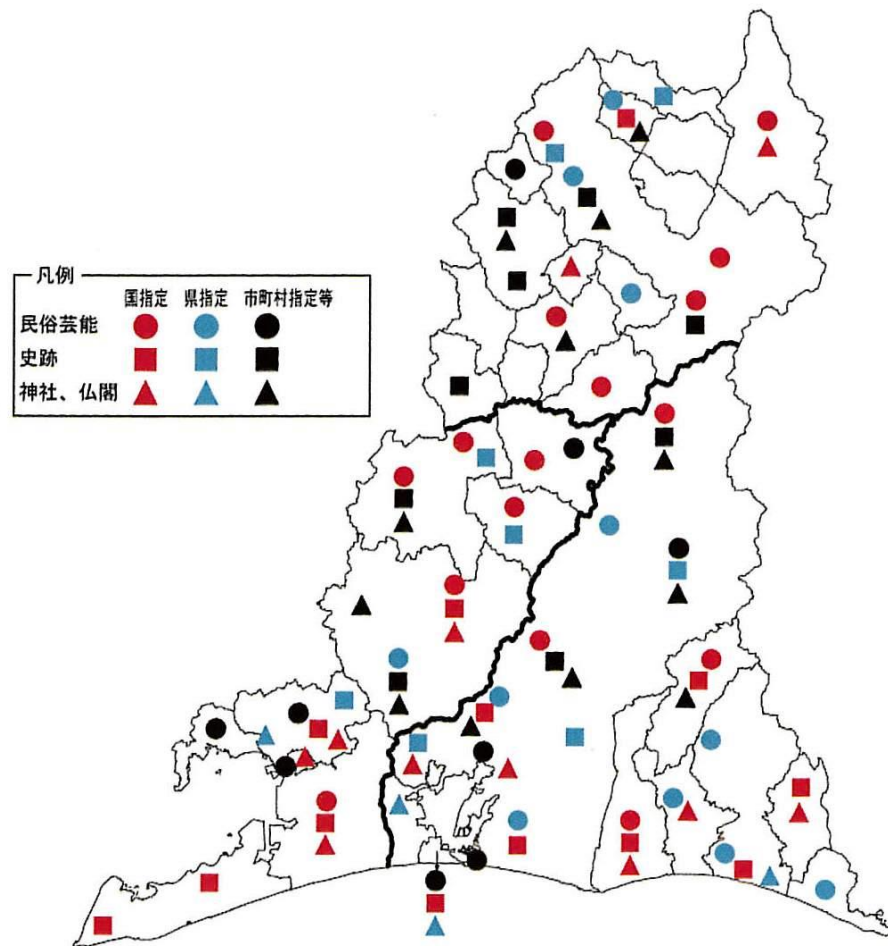


三遠南信地域の地域資源の象徴『祭り』

●三遠南地域には、道によって上方や東海から伝播した文化が隔絶した山村故に他に流出することなく守られてきた。

●伊奈谷(長野県)、奥三河(愛知県)、北遠(静岡県)は、中世を起源とする民俗芸能が多く、民俗学的にも「民俗芸能の宝庫」と言われている。

●今でも人々の暮らしと深く結びついている。『祭り』は、道による文化往来の象徴であり、最も魅力的な地域資源の一つ。



■図表 2-7 民俗芸能、史跡等の分布

出典：平成3年国土総合開発事業調整費調査等より作成

三遠南信 祭り街道紀行 来て観て触れてほんものの感動体験



祭りとお食文化をいっしょに楽しもう！！

国指定 重要無形民俗文化財

- ◎ 新野の雪祭り 1月13～14日
- ◎ 新野の盆踊り 8月14日～16日 第4土曜日
- ◎ 遠山郷の霜月祭り 12月 各地区
 - ◎ おきよめ祭り 1月3日
 - ◎ 坂部の冬祭り 1月4日
 - ◎ 池大神社例祭 1月5日
- ◎ 豊根村の花祭り 11月～1月各地区
- ◎ 東栄町の花祭り 11月～3月各地区
- ◎ 西浦の田楽 旧暦 1月18日
- ◎ 豊橋の鬼祭り 2月10～11日
 - ◎ 懐山のおくない1月3日
 - ◎ 寺野のひよんどり 1月3日
 - ◎ 川名のひよんどり 1月4日
- ◎ 和合の念仏踊り 8月13日～16日

国・県指定選択無形民俗文化財

- ◎ 深見の祇園祭り 7月第4土曜日
 - ◎ 早稲田人形芝居 1月第2日曜日 8月第4日曜日
 - ◎ 日吉のお鯨祭り 4月29日
 - ◎ 大河内の鹿追い祭り 旧暦3月3日
 - ◎ 東栄町の鹿追い祭り 1月～2月 各地
 - ◎ 滝沢のおくない1月1日
- 奇祭 行人様の御開帳 4月29日 9月敬老前日

祭り街道

阿南町
東栄町

東三河へつなぐ

遠州へつなぐ

祭り街道が面白い



祭り街道の会 TEL 0260-24-2574 mail eisyoun@mis.janis.or.jp



三遠南信住民ネットワーク協議会

A stylized map of the San'en-Nanshin region, showing the outlines of the three prefectures: Aomori (pink), Iwate (green), and Miyagi (blue). The map is positioned on the right side of the slide, partially overlapping the title.

三遠南信住民ネットワーク協議会は2012年6月に設立し、三遠南信の交流と連携に関心を持つ住民団体やグループおよび個人が東三河・遠州・南信州を機能的につなぎ合わせ、広く情報の共有と発信を図り、協働して地域づくりを実践している組織です。

また、圏域の連携活動を「寄って、たかって、盛り立てよう！」の方針のもと、三遠南信地域連携推進ビジョン会議(SENA)をはじめとする地域の行政機関や経済団体など諸団体と連携して三遠南信地域づくりの実現を目指しています。

【主な連携プロジェクト】

①三遠南信「地縁店」展開プロジェクト

高度差を活かした特産品アンテナショップを各圏域で展開。「地産地消」を超えて「互産互消」へ。

②三遠南信「祭り街道」連携プロジェクト

三遠南信のDNA(遺伝子)「祭り」を道で結び、「道の駅」などで発信。

③三遠南信「アート」街道プロジェクト

地域文化やスポーツで繋ぐ連携事業を応援。

祭り街道

情報が動けば、人ともものが動く。



「道の駅」第2ステージ

求められる高次機能
地域のゲイトウェイへ

三遠南信のDNA(遺伝子)『祭り』を道で結び、
「道の駅」などで発信。

情報発信施設(案)

東三河 道の駅「もつくる新城」 道の駅「豊根グリーンポート宮嶋」
「花祭会館」・「花まつりの館」(東栄町)

遠州 道の駅「くんま水車の里」 道の駅「天竜相津花桃の里」
「奥浜名湖田園空間博物館」(浜松市)

南信州 道の駅「信州新野千石平」
阿南町歴史民俗資料館(阿南町)

三遠南信の 民俗芸能がある 地域を

“みち” でつなぐ

「祭り街道」



道の駅で情報発信

ハイウェイの整備効果
バイウェイの活用

国指定重要無形民俗文化財 (東三河3、遠州5、南信州5)



花祭



豊橋神明社の鬼祭



西浦の田楽



遠江森町の舞楽



天龍村の霜月神楽



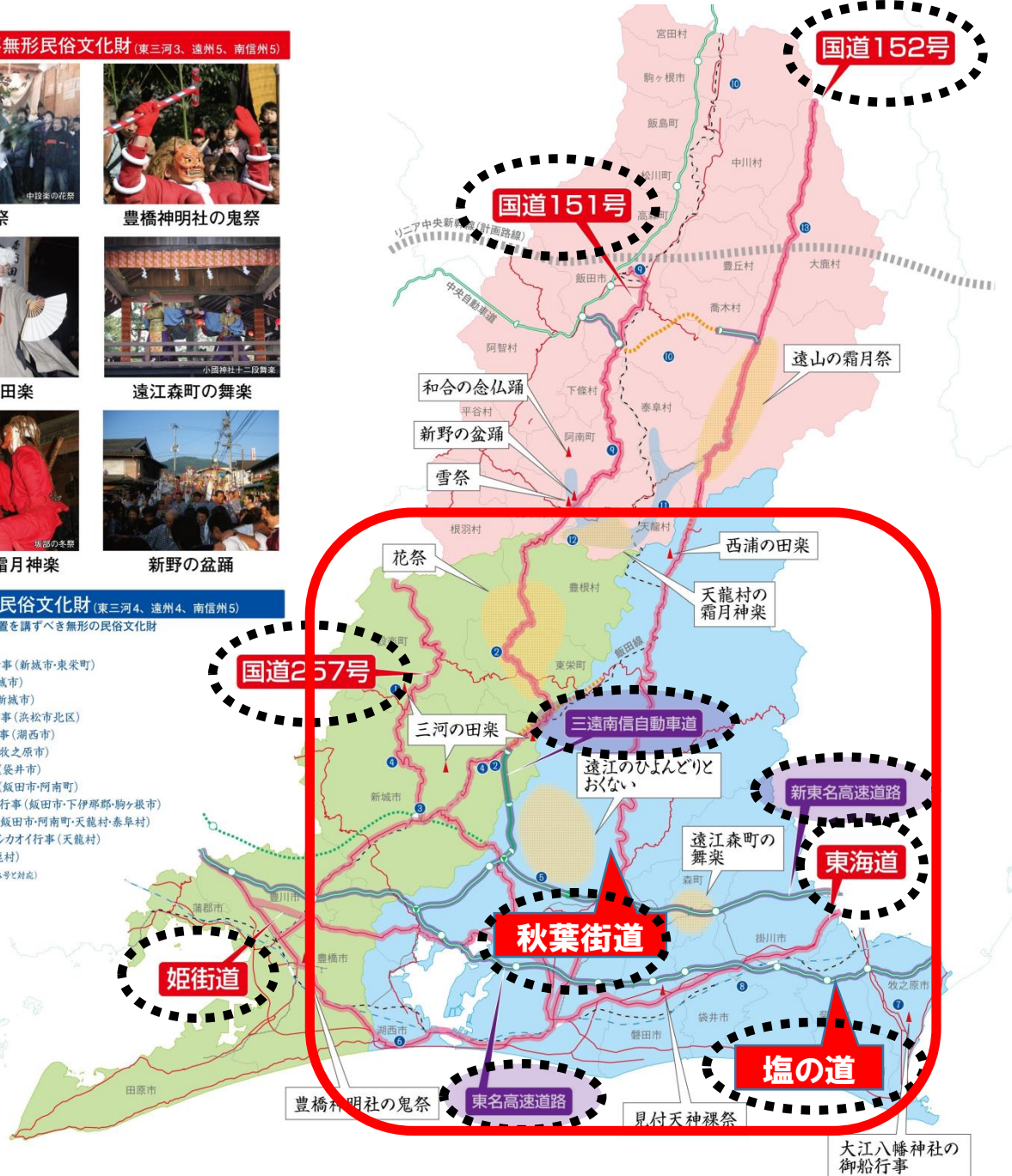
新野の盆踊

国選択無形民俗文化財 (東三河4、遠州4、南信州5)

※記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

- ① 参候祭(設楽町)
- ② 設楽のシウチ行事(新城市・東栄町)
- ③ 大海のほろか(新城市)
- ④ 鳳来町のほろか(新城市)
- ⑤ 遠江のシウチ行事(浜松市北区)
- ⑥ 新居のこ八日行事(湖西市)
- ⑦ 短ヶ谷の田遊び(牧之原市)
- ⑧ 法多山の田遊び(袋井市)
- ⑨ 伊那の人形芝居(飯田市・阿南町)
- ⑩ 伊那谷のこ八日行事(飯田市・下伊那郡・駒ヶ根市)
- ⑪ 下伊那のかけ踊(飯田市・阿南町・天龍村・泰阜村)
- ⑫ 下伊那大河内のシカオイ行事(天龍村)
- ⑬ 大鹿歌舞伎(大鹿村)

(上記の番号は地図中の番号と対応)



三遠南信「祭り街道」構想と国指定・選択無形民俗文化財の分布

三遠南信「祭り街道」事業(国土交通省の支援)

沿線の地域資源

- 古来からの交流を象徴する歴史街道
- “民俗芸能の宝庫”
(「世界遺産」に匹敵するほど)
- 多くの祭りや歴史文化資源は街道沿いに分布
- 自然の恵みを活かした特産品が豊富(食文化)
- 土木・産業遺産(ダム・鉄道・工場・発電所など)
- 風景街道・自然遺産

三遠南信の地域資源

地域	特産品
東三河地域	
豊橋市	キャベツ・うずらの卵・三河佃煮
田原市	とまてル・めろんハート
豊川市	いなり寿司
蒲郡市	蒲郡みかん・メカリ・ニギス
新城市	八名丸里羊・猪肉・鮎加工品・五平餅
旧作手村	へぼ
旧鳳来町	やなぎまつたけ
東栄町	東栄チキンウインナー
豊根村	間伐材
新居町	牡蠣
旧三ヶ日町	三ヶ日みかん
遠州地域	
浜松市	エシャレット・セルリー・ネーブル・三方原馬鈴薯・遠州灘シラス・天然ふぐ・浜名湖うなぎ等
旧浜北市	浜北次郎柿
御前崎市	クエ・ガワ料理
赤木村	天日王し野菜・山野草
天龍村	ていざなす
阿南町	鈴ヶ沢なす・きゅうり
下条村	辛味大根
泰皇村	菊芋
清内路村	清内路きゅうり・かぼちゃ・赤根大根・清内路黄いも
飯田市	山菜・薬草(アマチャ)南水なし・やまびこしめじ

※地域が売りだして生きたい特産品
「地域物産販路拡大調査」—H21年、東三河
研究センター—より



課題解決に向けた取り組み

【課題解決に向けて】

地域が**連携**し、
道を賢く使いながら、
情報発信機能の**強化**に取り組み、
地域を広域圏に売り込む**プロモーション**が重要



地域が一丸となって取り組める、
地域全体を象徴する
“祭り”や“街道”をテーマにした活性化事業を展開

※一方で、『祭り』は年中行事ではなく短期間しか実施されず、期間・時期も様々
⇒ “そこだけ”じゃない、“いつ来ても”魅力的なコンテンツも必要

三遠南信「祭り街道」事業の実施内容

調査項目		調査内容
現況調査	地域の現状	●社会・経済情報のすう勢や地域の歴史文化・変遷等について既存資料から分析
	地域資源の抽出分析	●“祭り”等地域の歴史・文化的資源に係る情報収集及び分析 ●その他、観光資源や特産品等各地域で“みがき”をかけ、“売り出し”たい資源の発掘
	道の駅等拠点施設の分析	●道の駅やその他の拠点となる施設の分布と現況把握
コンセプト設定		●情報発信の基本方向(“誰”を対象に“何”を“どこで”発信するか) ●道の駅等拠点施設の機能強化に向けた方針。(ハード・ソフト面から、どのような機能を増強すべきか) ●連携ネットワークの方針(三遠南信自動車道, 新東名, 街道(国道)の役割分担とネットワーク化の方針・・・案内誘導等ソフト面でのネットワーク化)
情報発信のスキーム		●情報のコンテンツ(どのような地域資源を売り込んでいくか具体的に検討) ●情報発信のメディア・ツール(マップ, HP, Wi-Fi活用, JAFと連携等) ●情報発信スキームのなかで道の駅等、拠点施設の役割と具体的な機能強化策
祭り街道ネットワーク (道の駅活用)		●三遠南信自動車道、新東名から街道及び道の駅に至る案内誘導方策を検討 ●道の駅から周辺環境資源へのネットワーク化に資する案内誘導方策 ●道の駅等、拠点施設の相互の連携方策
実現化方策		●風景街道の登録に向けた必要な施策を整理 ●具体的に事業を推進するための仕組みや、組織構成のあり方及び役割分担のあり方 ●モデル的に事業を取り組むべき地域や、道の駅の選定と関係機関の合意形成

(3) 事業展開のシナリオ

平成27年度

連携のプラットフォームづくり
と計画のアウトラインを検討

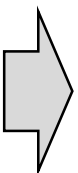
平成28年度

モデル地域を対象に**連携の
具体化**と計画作成

平成29年度以降

モデル地域での事業の**具体
化**とその他地域での展開

- 連携に向けた体制の構築
- どのような情報をどのよう
にして、どこで発信
- 誰が何を
- モデル地域の抽出



- モデル地域での関係者相
互の調整
- 施策の具体化
- ・モデル地域内で祭り街道の
情報提供や連携の試行
- 役割分担の明確化
- モデル地域での取組み検
証(他地域への展開に向けて)



- モデル地域での事業の
具体化
- モデル地域での**成果報
告(三圏域対象)**
- その他地域で、モデル
地域の順次事業を展開
- ・地域資源の基礎調査
- ・情報提供の可能性検討

・三遠南信地域全体を一括して、検討するのは関係者が多くなることから、いくつかの地域に分割して、検討するほうが現実的。
・平成27年度に全体のアウトラインを定めて、**平成28年度ではモデル地域での具体的計画を検討。**

・モデル地域での事業化を先行的に進め、その**効果を他地域に周知**することによって、協力を得やすくする。
・モデル地域での経験を活かし、PDCAサイクルにて、**他地域に事業を展開**

モデル地域：遠州

祭りのある地域が道で連携して、伝統芸能をはじめ、自然、歴史、風習、特産品などを情報提供する仕組みづくり



東三河、南信州へ
広げていく

